

部課名		保健所保健総務課											
使命		<p>○円滑で適正な統計調査を行い、収集した調査票は東京都または国へ適正に提出します。</p> <p>○医療に関する正しい知識や情報を行き渡らせ、市民の安全で健康的な暮らしの創造を支援します。</p> <p>○許認可施設において、衛生管理・医療安全管理が行き届き、市民の健康増進に寄与できるよう、適正な行政指導を実施するとともに関係者との連携を図ります。</p> <p>○市民・関係団体の相互理解による医療安全の向上を実現します。</p> <p>○保健所の総務担当課として、所内の業務が円滑に遂行されるよう連絡調整します。また、他部署、他機関との連携が安定的に実施されるよう調整します。</p>											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	医療安全支援体制の整備	個別 計画	市民と医療機関との良好な関係作り等に関する市民向け講演会を実施します。	講演会の回数	1回	○	講演会の日時、場所、内容、講師を決定しました。	11月14日に市民フォーラムホールにて市民向け講演会を開催する予定です。	11月14日に市民向け講演会を開催し、92名が参加しました。患者と医師とのコミュニケーションをテーマとし、好評でした。	1回	C	予定どおり実施しました。	講演内容を多くの市民に伝える方法を研究していきます。
2	災害医療体制の整備	個別 計画	地域防災計画上の救護統括班の活動内容を班内で周知します。	説明会の回数	1回	○	活動内容の資料を作成し、8月21日に説明会を実施しました。	来年度の説明会に向けて資料を充実させます。	説明会には、12名が参加し、活動内容の周知ができました。	1回	C	予定どおり実施しました。	班内への周知を継続します。
3	業務の効率化	—	医事、薬事施設情報のオープンデータ化を行うための準備をします。	データ精査	実施	○	医事施設982か所に対してデータ精査を依頼しました。	医事施設についてのデータ公表準備をします。	医事施設の事業者からの報告に基づき、データの修正を行いました。	実施	C	予定どおり実施しました。	薬事施設のデータ精査を行う予定です。
4	障がい者診療体制の推進	—	関係者(医師等)との検討をします。	検討回数	1回	○	国が補助事業にて作成した「合理的配慮に関する事例集」をもとに検討に向けた準備を行いました。	町田市医師会と検討します。	町田市医師会と検討し、来年度の医療従事者向け講演会の実施に向け、11月に町田市医師会に講師派遣依頼を行いました。	1回	C	予定どおり実施しました。	医療従事者向け講演会を実施する予定です。
5	新型インフルエンザ等対策	個別 計画	健康危機管理委員会を開催します。	開催回数	1回	○	委員会開催に向けて、新型インフルエンザ対策に関する国や都の動向について情報収集を行いました。	様々な健康危機管理の取組みについて、2月に委員会を開催します。	新型インフルエンザ対策に関する情報収集を行い、また、様々な健康危機管理の取組みについて、2月に委員会を開催しました。	1回	C	予定どおり実施しました。	健康危機管理について、委員会開催等、各関係機関とも引き続き情報共有・連携を図っていきます。

部課名		保健所健康推進課											
使命		市民一人ひとりが、健やかで自立した生活を送れるように、関連機関と協力しながら、健康づくりを推進し、安心して過ごせるための支援を充実させます。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	職域に向けたがんの 予防普及啓発	重点 事業 プラン	町田商工会議所の会員などに対して、がん検診の受診を促すため、勸奨チラシを作成し、配布します。	職域に向けたがんの予防普及啓発の実施回数	2回	○	<ul style="list-style-type: none"> 7月から協定締結企業による勸奨チラシ(3,000部)の配布を開始しています。 町田商工会議所と調整し、9月発行の会報に勸奨チラシ(4,100部)を同封しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 勸奨チラシの配布を継続します。 配布したチラシへの反応を町田商工会議所等に確認し、次年度に向けて研究します。 	<ul style="list-style-type: none"> 町田商工会議所・協定締結企業と連携し、予定どおり勸奨チラシを配布することができました。 	2回	C	予定どおり実施しました。	各がん検診の受診勧奨を効果的に行うため、チラシの配布対象者を工夫していきます。
2	心の健康づくりに関する事業者向けの研修の実施	重点 事業 プラン	町田商工会議所等と協働し、心の健康づくりに関する事業者向けの研修を実施します。	研修の実施回数	2回	○	<ul style="list-style-type: none"> 町田商工会議所の後援による研修(ミュージカル)の開催に向けて関係団体と調整し、11月に実施することが決定しました。 研修参加の呼びかけについては、自殺対策推進協議会委員と所属団体の構成員に対しての周知、広報まちだへの掲載やチラシの配布等を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月13日及び14日に、町田市民ホールで、研修(ミュージカル)を行います。 3月に実施する研修について、人選や内容の調整を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 町田商工会議所等と協働し、心の健康づくりに関する事業者向けの研修を2回実施しました。 11月に実施したミュージカルについては、各関係機関やまちだサポーターズとも連携して、2日間で579人が参加しました。 	2回	C	予定どおり実施しました。	町田市自殺対策計画に基づき、心の健康づくりに関する普及啓発を引き続き進めていきます。
3	中学生及び高校生、大学生に対する、たばこの煙による健康影響についての普及啓発活動	個別 計画	市内の中学生・高校生・大学生に対し、防煙教育講座を開催します。	開催学校数	3校	○	<ul style="list-style-type: none"> 防煙教育の実施について、各市立中学校・大学に呼びかけを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 防煙教育講座を市立中学校3校で開催します。 市内の高校等に対しても、防煙教育の実施について呼びかけを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 防煙教育講座を中学校3校(真光寺中学校・鶴川第二中学校・南成瀬中学校)、大学2校(東京工業大学・昭和薬科大学)で実施しました。 	5校	B	予定どおり実施し、さらに2校で開催することができました。	<ul style="list-style-type: none"> 高校の実施に向けて取り組んでいきます。 学生・生徒だけでなく、学校関係者に対しても普及啓発を進めていきます。

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
4	電話対応体制の見直し・改善	個別 計画	<ul style="list-style-type: none"> FAQの見直し・修正を行います。 ホームページの更新を行います。 代表電話の効果的な活用について、広聴課と協議を行います。 	代表電話からの転送件数の削減	2017年比10%減	◎	<ul style="list-style-type: none"> 代表電話オペレーターと調整し、FAQ及びホームページの修正、更新を行いました。 広聴課と協議し、代表電話オペレーターへの研修を実施しました。特に、受診者によって転送する課が違うことや、自己負担金免除を受けるための手順について説明しました。 集計の結果、代表電話からの転送件数は、2017年と比べて33%減少しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表電話からの転送電話の分析を行い、引き続き対応の改善に向けた検討を進めていきます。 代表電話の完結率も増加傾向になっていますので、引き続き分析を続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> FAQの見直し・修正、ホームページの更新だけでなく、直接、代表電話オペレーターに研修を実施したことで、市民からの問合せをワンストップ化できる件数が増えました。 FAQについては、関係が深い保険年金課と連携して、見直し・修正を行いました。 	代表電話からの転送件数約3割減少	B	予定どおり実施し、目標値を超える効果がありました。	市民からの問合せを継続してワンストップ化していくために、次年度以降も今回の改善効果を活かしていきます。

部課名		保健所保健予防課											
使命		・予防接種や医療費助成、母子保健に係る事務等を適切に実施し、市民一人ひとりが健やかで安心して過ごせるための支援を充実させます。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実	個別計画	<ul style="list-style-type: none"> 届出た妊婦全員に面接の働きかけを実施します。 支援が必要な妊婦に個別支援計画を作成、継続的な支援をします。 面接未実施者の状況について、全数把握を行います。 産後ケア事業の利便性の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 面接にて、必要な母子保健サービスや相談先がわかった人の割合 面接未実施者の状況把握率 産後ケア事業利用者数 	<ul style="list-style-type: none"> 95%以上 100% 31人以上 	○	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果、「面接にて、必要な母子保健サービスや相談先がわかった」と答えた方の割合は97%でした。(2018年8月時点) 面接未実施者については、電話かけや新生児訪問、3~4か月児健診などで状況把握を行っています。 産後ケア事業の実施施設を増やすことにより、利用者は27人(実人数)で、既に目標値の約85%を達成しています。(2018年8月時点) 	<ul style="list-style-type: none"> 面接では、引き続き市民ニーズに沿った相談先の周知に努めます。 面接未実施者については、引き続き電話かけや新生児訪問、3~4か月児健診などで状況把握に努めます。 産後ケア事業について、引き続き妊婦面接での全員への周知を行うとともに、産後ケアが必要な方に対しては積極的な周知を行っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果、「面接にて、必要な母子保健サービスや相談先がわかった」と答えた方の割合は97%でした。(2018年10月時点) 面接未実施者について、電話かけや新生児訪問、3~4か月児健診などで状況把握を行いました。 産後ケア事業の利用者は44人(実人数)で、既に目標値の140%を超えました。(2018年11月時点) 	<ul style="list-style-type: none"> 97% 100% 44人 	B	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の目標値を達成できました。 特に産後ケア事業の利用者は、妊婦面接での案内などが有効に働き、目標値を大幅に超えることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦面接については、引き続き対応していきます。 産後ケア事業については、利用希望者数が多いため、利用者のニーズに合っているかを確認しながら進めていきます。
2	新生児聴覚検査事業の充実	個別計画	<ul style="list-style-type: none"> 契約医療機関を拡充し、市民の利便性の向上を図ります。 新生児聴覚検査結果を確認し、必要な方に支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規契約医療機関数 要精密検査者の結果把握 	<ul style="list-style-type: none"> 1件 要精密検査者の受診結果全数把握 	○	<ul style="list-style-type: none"> 1医療機関と新規契約をしました。 要精密検査者については、受診結果を全数把握し、必要な支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度の契約維持に向け準備を行います。 引き続き、要精密検査者の受診結果の把握と必要な支援の実施に努めます。 	医療機関との新規契約実施や、要精密検査者について受診勧奨、結果把握および必要な支援の実施など、事業を予定どおり進められました。	<ul style="list-style-type: none"> 新規契約医療機関数1件 要精密検査者の受診結果が把握できている 	C	目標値を達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> 新生児聴覚検査について、2019年度から都内統一の事業となります。円滑に移行できるように、注意して進めていきます。
3	人材育成のための独自研修実施	—	研修により職員のスキルを高めることで、組織の業務遂行力向上を図ります。	開催回数	1回	○	<ul style="list-style-type: none"> 保健師と栄養士の外部講師を招いて、職員一人一人のスキル向上を目的とした災害発生時の保健活動について研修を実施しました。 	職員のセルフプランニング力をより一層高めることを目的に、課内研修を実施します。	研修により、職員全員が必要な業務知識を向上することができました。	2回(参加者数合計71名)	B	予定よりも多く研修を開催し、課内職員の業務遂行能力を高めることができました。	より円滑に業務を遂行できるよう、引き続き研修を実施していきます。

部課名		保健所保健予防課地域保健推進担当											
使命		市民一人ひとりが健やかで、自立した生活を送れるよう、地区ごとの健康相談を実施し、安心して過ごせるための支援を充実させます。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	食育の推進	重点 事業 プラン	<ul style="list-style-type: none"> 食を通じた地域交流の推進により、共食の大切さなどを普及啓発するために育成した食育ボランティアの活動の場を広げます。 食育に関する情報や体験の場を提供することで、市民が食育に関心を持ち、実践につなげることを目的に実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育ボランティアの活動回数 食育フェアの来場者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・35回以上 ・1000名 	○	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進庁内連絡会等で具体的な活動例を示し、他課事業においても調理実習など食育ボランティアの活動を19回実施しました。 食育フェア連携会議を2回開催し、来場者数を増やすための検討をしました。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員活動の場でも、食育ボランティア活動について周知します。 市立小学校へのチラシ配布など、宣伝範囲を広げて、食育フェアの来場者数の増加を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員に食育ボランティアの活動について周知しました。その結果、健康づくり推進員から防災食の調理実習依頼があり、食育ボランティアとの連携が深まりました。 食育ボランティアの資質向上のため、勉強会を行いました。 チラシは市立小学校全校に配布しました。また、法人立保育園協会の園長会へ出向き、直接案内しました。フェアには1団体が新たに参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・44回 ・851名 	C	<ul style="list-style-type: none"> 食育ボランティアの活動回数は、目標値を上回りました。 食育フェアの来場者数は、目標値に達しませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育ボランティアの活動の場を広げるために、周知先を増やします。 食育フェアで培われた食育の「輪」を生かし、団体間の連携・協働をさらに進めていく必要があります。
2	高齢者歯科口腔機能健診の普及	個別 計画	<p>昨年開始した高齢者歯科口腔機能健診の周知を進めるために、広く普及啓発に努めます。</p>	普及啓発の広告箇所	25箇所以上	○	<ul style="list-style-type: none"> 広報まちだへ掲載するとともに各市民センター、ふれあい館等にチラシを設置しました。(19箇所) また高齢者福祉課主催事業の際にもチラシ配布を行いました。(22事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者支援センターやあんしん相談室への設置についても調整を行います。 引き続き、ポスターの掲示などについて歯科医師会を含め話し合いをすすめていきます。 	<p>上半期の設置19箇所に加え、下半期は、高齢者支援センター12箇所、あんしん相談室12箇所にチラシを設置し、年間で計43箇所にチラシを設置することができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・43箇所 	B	<p>普及啓発の広告箇所について目標値を上回りました。</p>	<p>広告の設置場所をより一層広げる必要があります。また、広告だけでなく、対象者に直接働きかける取り組みについても検討を行います。</p>

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	新生児聴覚検査事業 の充実	個別 計画	<ul style="list-style-type: none"> 契約医療機関を拡充し、市民の利便性の向上を図ります。 新生児聴覚検査結果を確認し、必要な方に支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規契約医療機関数 要精密検査者の結果把握 	<ul style="list-style-type: none"> 1件 要精密検査者の受診結果全数把握 	○	<ul style="list-style-type: none"> 1医療機関と新規契約をしました。 要精密検査者については、受診結果を全数把握し、必要な支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度の契約維持に向け準備を行います。 引き続き、要精密検査者の受診結果の把握と必要な支援の実施に努めます。 	医療機関との新規契約実施や、要精密検査者について受診勧奨、結果把握および必要な支援の実施など、事業を予定どおり進められました。	<ul style="list-style-type: none"> 新規契約医療機関数1件 要精密検査者の受診結果が把握できている 	C	目標値を達成できました。	新生児聴覚検査について、2019年度から都内統一の事業となります。円滑に移行できるよう注意して進めていきます。
4	人材育成のための独自研修実施	—	研修により職員のスキルを高めることで、組織の業務遂行力向上を図ります。	開催回数	1回	○	保健師と栄養士の外部講師を招いて、職員一人一人のスキル向上を目的とした災害発生時の保健活動について研修を実施しました。	職員のセルフプランニング力をより一層高めることを目的に、課内研修を実施します。	研修により、職員全員が必要な業務知識を向上することができました。	2回(参加者数合計71名)	B	予定よりも多く研修を開催し、課内職員の業務遂行能力を高めることができました。	より円滑に業務を遂行できるよう、引き続き研修を実施していきます。

部課名		保健所生活衛生課											
使命		<ul style="list-style-type: none"> 生活衛生に関する正しい知識や情報を行き渡らせ、市民の安全で健康的な暮らしの創造を支援します。 適正な行政指導と関係者との連携により、市民の健康を守り、衛生管理が行き届いた快適で安全な生活環境を実現します。 市民・関係団体の相互理解と協調による動物との共生社会を実現します。 											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や成 果	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	地域に根ざした動物 愛護の推進	個別 計画	動物愛護に関する会議に向けた 調整・準備を行い、会議を開催し ます。	動物愛護に関 する会議の開 催	1回	○	町田市動物愛護 推進協議会開催 に向けて動物愛護 に関する関係者と 調整・準備を行い ました。	会議の検討事項 について情報収集 を行い、会議を開 催します。	会議では動物愛護推 進計画に基づいた取り 組みや地域猫活動ガ イドラインの策定につ いて報告し、意見交換 しました。	1回	C	予定通り実施 しました。	関係者と連携 して取り組みを 進めます。
2	災害時動物対策	個別 計画	災害時の避難方法及び、平時の 準備について普及啓発を行いま す。	災害時動物対 策の普及啓発 数	2回	◎	<ul style="list-style-type: none"> 6月30日、7月1日 の自主防災組織 班長講習会にて、 災害時のペット対 策について説明し ました。 ペットタウンまち だ(8月15日号) に、人とペットの災 害対策について掲 載しました。 9月2日の高ヶ坂 地区の同行避難 訓練で注意点など を助言しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 機会を見つけて 普及啓発を行い、 あわせて次年度の 災害時動物対策 資料作成に向けた 情報収集を行いま す。 	<ul style="list-style-type: none"> 上半期は3回普及啓 発活動を行いました (講習会での説明、広 報紙発行、地域の同 行避難訓練の場での 普及啓発)。 下半期は2回普及啓 発活動を行いました (12月16日小山田桜 台地区、1月12日原町 田地区に災害時動物 対策に関する出前講 座)。 	5回	B	予定を超え5 回実施できま した。	出前講座でい ただいた質問 を参考に、情 報提供を充実 させていきま す。
3	公衆浴場及び旅館業 入浴施設及びプール 運営施設における衛 生対策・事故防止対 策の推進	個別 計画	公衆浴場・旅館業の入浴施設及 びプール運営施設の使用水や、 設備に応じて施設ごとの注意すべ きポイント等適切な衛生対策を指 導し、全施設の水質検査にてレジ オネラ属菌が不検出となることを確 認します。	<ul style="list-style-type: none"> 施設立入検 査実施率 レジオネラ属 菌不検出率 	<ul style="list-style-type: none"> 100% 100% 	○	6月から8月にか けて、公衆浴場等全 36施設の水質検 査を実施し、全 ての施設で、レジオ ネラ属菌が不検出 であることを確認 しました。	下半期は循環式 浴槽を有する公衆 浴場等15施設に ついて重点的に水 質検査を実施し、 レジオネラ属菌が 不検出であることを 再確認します。	公衆浴場等全施設 の水質検査を実施し、全 ての施設で、レジオ ネラ属菌が不検出 ことを確認しました。	立入検査 実施率 100% レジオネラ 属菌不検 出率100%	C	予定通り実施 しました。	次年度も公衆 浴場等全施設 の水質検査に て、レジオネラ 属菌が不検出 となるよう取 組みます。
4	食品衛生にかかる普 及推進	個別 計画	事業者及び市民に対する講習会 等の情報提供の機会を活用し、食 の安全に関する普及啓発に取り組 みます。	食品衛生実務 講習会実施要 領に基づく講 習会実施回数	13回	○	<ul style="list-style-type: none"> 事業者への更新 講習会を毎月1 回、実務講習会 を1回、計7回開催 しました。 夏祭り等の出店者 説明会やデイベ ルサービス利用 者への出張講習 会を実施しまし た。 	引き続き、事業 者向けの更新講習 会を毎月実施し ていきます。	食品関係営業許可 にかかる更新講習 会を12回開催した ほか、事業者及び 市民に向けた食品 衛生実務講習会を 1回開催しました。	13回	C	予定通り実施 しました。	次年度も事業 者及び市民に 対する講習会 の実施等を通 じ、食の安全 に関する普及 啓発に取り組 みます。
5	職員育成	—	業務に関わる研修を独自に実施 し、職員育成を図ります。	独自研修の実 施	1回	○	管財課車両管理 係に講師を依頼 し、6/28に安全運 転講習会を実施 しました。	来年度の研修の 実施に向けて準備 を行います。	独自研修として安全運 転講習会を実施し、職 員の安全運転に対 する意識を高めました。	1回	C	予定通り実施 しました。	継続して定期 的な研修を開 催し、職員育 成に取り組み ます。